

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場会社名 市光工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河島 一夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 田村 順一

TEL 03-3443-7161

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	41,355	△29.7	△1,744	—	△1,504	—	△4,686	—
21年3月期第2四半期	58,836	—	886	—	1,516	—	334	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△48.86	—
21年3月期第2四半期	3.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	74,283	11,460	12.6	97.51
21年3月期	74,108	15,535	18.1	140.06

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 9,353百万円 21年3月期 13,434百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.00	—	0.00	2.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

現時点では、期末日における配当予想額は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,500	△11.3	1,000	—	1,400	—	△2,800	—	△29.19

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 96,036,851株 21年3月期 96,036,851株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 117,639株 21年3月期 114,287株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 95,921,712株 21年3月期第2四半期 95,934,693株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年5月15日に発表いたしました連結業績予想は、通期について修正しております。詳細は、平成21年11月4日発表の『業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ』並びに『(訂正)「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」の一部訂正について』をご覧ください。

2. 平成22年3月期の第2四半期期末配当(中間配当)につきましては、平成21年11月5日発表の「剰余金の配当(中間)に関するお知らせ」に記載のとおり、誠に遺憾ながら無配とさせていただきたく存じます。なお、期末配当予想額につきましては、現時点では未定とさせていただき、今後の業績動向等を勘案し、予想額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年度後半以降の最悪期を脱し、一部の経済指標に改善の兆しが見られましたが、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化等、依然として予断を許さない状況が続いております。また、世界経済におきましても、各国の景気対策や財政出動による一定の効果がみられるものの、依然として先行きが不透明な状況であります。

当社グループが属する自動車業界におきましては、わが国においては、政府による自動車買い換え促進策により、一部の車種では販売台数の増加傾向が見られたものの、全体的な需要回復には至っておらず、輸出についても低調に推移したことから、国内生産台数は前年同期に対し大幅に減少いたしました。また、中国など一部の新興国では低迷を脱し、増産に転じましたが、北米、欧州では依然厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社グループは早期の業績回復を図るべく、生産体制の再構築に取り組んでおります。その結果、第2四半期連結売上高は、41,355百万円（前年同期比29.7%減）、営業損失は1,744百万円（前年同期は営業利益886百万円）、経常損失は1,504百万円（前年同期は経常利益1,516百万円）、四半期純損失は4,686百万円（前年同期は四半期純利益334百万円）となりました。

当社グループ主力の自動車部品関連の売上高は40,480百万円（前年同期比29.4%減）で、自動車関連以外の部門における売上高は875百万円（同40.0%減）となっております。

所在地別セグメントの業績は次の通りであります。

①日本

日本におきましては、政府による自動車買い換え促進策により、一部車種で販売台数の回復が見られたものの、全体的には国内需要が伸び悩み、輸出についても低調に推移したことから、国内生産台数が大幅に減少し、売上高は37,964百万円（前年同四半期比30.2%減）、営業損失は2,111百万円（前年同四半期は営業利益411百万円）となりました。

②北米

北米におきましては、大手自動車メーカーの経営破綻の影響が残るなど景気が低迷する中、売上高は1,164百万円（前年同期比43.1%減）、営業損失は109百万円（前年同期は営業損失74百万円）となりました。

③アジア

アジアにおきましては、世界的な景気後退の影響を受け自動車生産台数が減少したことから、売上高2,595百万円（前年同期比14.5%減）、営業利益は400百万円（同17.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期における総資産は74,283百万円となり、前連結会計年度末比174百万円の増加となりました。その主な要因は、売掛金の増加等による流動資産の増加1,099百万円、生産体制の再構築に伴う設備の除却等による有形固定資産の減少953百万円、長期借入れ等による固定負債の増加4,232百万円、純資産の減少4,074百万円であります。なお、純資産は11,460百万円となり、自己資本比率は12.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は9,128百万円となり、前連結会計年度末比753百万円の減少となりました。

営業活動により使用した資金は1,046百万円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純損失4,330百万円、減価償却費2,664百万円であります。

投資活動により使用した資金は2,797百万円となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出3,762百万円、有形固定資産の売却による収入1,126百万円であります。

財務活動により獲得した資金は3,138百万円となりました。主な要因は長期借入れによる収入7,000百万円、長期借入金の返済による支出2,835百万円、リース債務の返済による支出724百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、今後の見通しを勘案し、平成21年5月15日発表の予想数値を修正いたしました。詳細は、平成21年11月4日公表の『業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ』及び『（訂正）「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」の一部訂正について』をご覧ください。

当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断している見通しであります。今後も、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと予想されますので、実際の業績は、現時点の業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生の状況に著しい変化が認められる場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間案分して算定する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取ロイヤリティー」、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産賃貸費用」は重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取ロイヤリティー」は117百万円、営業外費用の「その他」に含まれる「固定資産賃貸費用」は51百万円であります。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,578	10,729
受取手形及び売掛金	16,653	15,237
有価証券	86	86
商品及び製品	3,998	3,856
仕掛品	1,007	1,123
原材料及び貯蔵品	1,987	2,397
繰延税金資産	73	75
その他	3,509	3,287
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	37,871	36,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,849	8,276
機械装置及び運搬具（純額）	7,264	8,061
工具、器具及び備品（純額）	1,794	1,946
土地	5,700	5,820
リース資産（純額）	3,518	3,017
建設仮勘定	2,439	2,397
有形固定資産合計	28,567	29,520
無形固定資産	191	210
投資その他の資産		
投資有価証券	4,691	4,212
繰延税金資産	249	286
その他	2,732	3,126
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	7,652	7,605
固定資産合計	36,411	37,336
資産合計	74,283	74,108

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,163	12,445
短期借入金	3,658	3,870
1年内償還予定の社債	60	100
1年内返済予定の長期借入金	5,139	5,624
リース債務	1,574	1,186
未払法人税等	189	78
未払費用	3,003	2,500
製品保証引当金	774	966
役員賞与引当金	6	14
その他	3,184	3,949
流動負債合計	30,752	30,735
固定負債		
長期借入金	21,943	17,182
リース債務	2,005	1,897
退職給付引当金	7,244	8,036
役員退職慰労引当金	11	13
負ののれん	4	5
繰延税金負債	413	241
その他	447	460
固定負債合計	32,069	27,837
負債合計	62,822	58,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,929	8,929
資本剰余金	7,840	7,840
利益剰余金	△5,476	△789
自己株式	△29	△29
株主資本合計	11,264	15,951
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	217	△401
為替換算調整勘定	△2,129	△2,115
評価・換算差額等合計	△1,911	△2,517
少数株主持分	2,107	2,100
純資産合計	11,460	15,535
負債純資産合計	74,283	74,108

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	58,836	41,355
売上原価	50,509	37,056
売上総利益	8,326	4,299
販売費及び一般管理費	7,440	6,043
営業利益又は営業損失(△)	886	△1,744
営業外収益		
受取利息	72	30
受取配当金	89	58
固定資産賃貸料	198	188
持分法による投資利益	109	11
受取ロイヤリティー	—	123
受取技術料	257	44
その他	258	268
営業外収益合計	986	725
営業外費用		
支払利息	255	327
固定資産賃貸費用	—	49
その他	100	109
営業外費用合計	356	486
経常利益又は経常損失(△)	1,516	△1,504
特別利益		
固定資産売却益	24	50
その他	17	5
特別利益合計	41	55
特別損失		
固定資産処分損	111	232
投資有価証券評価損	86	340
減損損失	—	58
製品保証損失	312	—
退職特別加算金	—	913
退職給付制度終了損	—	1,325
その他	10	10
特別損失合計	519	2,881
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,038	△4,330
法人税等	564	271
少数株主利益	139	85
四半期純利益又は四半期純損失(△)	334	△4,686

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,038	△4,330
減価償却費	2,181	2,664
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,808	△192
退職給付引当金の増減額(△は減少)	40	△793
受取利息及び受取配当金	△162	△89
支払利息	255	327
為替差損益(△は益)	△9	9
持分法による投資損益(△は益)	△109	△11
有形固定資産売却損益(△は益)	86	175
投資有価証券評価損益(△は益)	86	340
売上債権の増減額(△は増加)	476	△1,449
たな卸資産の増減額(△は増加)	△450	362
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,769	885
その他の流動負債の増減額(△は減少)	78	1,518
その他	42	△75
小計	△24	△658
利息及び配当金の受取額	162	89
利息の支払額	△255	△327
法人税等の支払額	△351	△149
営業活動によるキャッシュ・フロー	△469	△1,046
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△260	△423
定期預金の払戻による収入	220	220
有価証券の取得による支出	△58	△48
有価証券の売却による収入	58	48
有形固定資産の取得による支出	△3,481	△3,762
有形固定資産の売却による収入	2,710	1,126
投資有価証券の取得による支出	△10	△9
貸付金の回収による収入	13	13
その他	△152	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△960	△2,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	180	△212
長期借入れによる収入	6,445	7,000
長期借入金の返済による支出	△2,737	△2,835
社債の償還による支出	△40	△40
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△287	—
少数株主への配当金の支払額	△13	△48
リース債務の返済による支出	△115	△724
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,429	3,138
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,970	△753
現金及び現金同等物の期首残高	12,611	9,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,581	9,128

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

自動車部品製造販売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	53,953	1,967	2,914	58,836	—	58,836
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	465	79	121	665	△665	—
計	54,418	2,047	3,035	59,501	△665	58,836
営業利益又は営業損失(△)	411	△74	483	820	65	886

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	37,653	1,164	2,538	41,355	—	41,355
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	310	—	57	367	△367	—
計	37,964	1,164	2,595	41,723	△367	41,355
営業利益又は営業損失(△)	△2,111	△109	400	△1,820	76	△1,744

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	2,660	5,184	7,844
II 連結売上高（百万円）	—	—	58,836
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	4.5	8.8	13.3

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,391	4,284	5,676
II 連結売上高（百万円）	—	—	41,355
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	3.4	10.3	13.7

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。